

大会日程

		第1会場 1階 OHSホール	第2会場 4階 B401講義室	第3会場 1階 チャットラウンジ	託児室 5階 第1会議室	事務局 4階 B402
		受付開始 8時15分～				
8時	50	開会式			託児室	事務局
9時	00	一般演題 セッション1		企業展示		
	10					
	20					
	30					
	40					
	50					
10時	00	一般演題 セッション2				
	10					
	20					
	30					
	40					
	50					
11時	00	教育講演 講師:保原 浩明 (産業技術総合研究所)				
	10					
	20					
	30					
	40					
	50					
12時	00	「機械は人間を超えられるか～ 走行用義足の展望について」				
	10					
	20					
	30					
	40					
	50					
13時	00	昼休憩	ランチョン報告会 平成29年度「福祉用具・義肢・ 装具支援に関する啓発と実態 調査」の報告 12:40-13:25			
	10					
	20					
	30					
	40					
	50					
14時	00	シンポジウム 「活動・参加を促進する移動支援機 器」～理学療法士の果たすべき役割 ～				
	10					
	20					
	30					
	40					
	50					
15時	00	一般演題 セッション3	一般演題 セッション4			
	10					
	20					
	30					
	40					
	50					
16時	00	一般演題 セッション5	一般演題 セッション6			
	10					
	20					
	30	閉会式・表彰式				
	40					
	50					

司会 長倉 裕二 (大阪人間科学大学)

機械は人間を超えられるか ～走行用義足の展望について～

■講師 保原 浩明

国立研究開発法人 産業技術総合研究所
人間情報研究部門 主任研究員



■講師略歴

1980 年 宮城県生まれ。

早稲田大学大学院博士後期課程修了。博士 (人間科学)。

国立障害者リハビリテーションセンター研究所、日本学術振興会特別研究員 (PD)、University of Maryland-College Park を経て 2013 年に産業技術総合研究所に入所。

義足ランナーの動作解析および大規模データ分析に取り組み、2014 年と 2016 年には German Sport University Cologne で Visiting researcher として研究を継続。

現在は北米および欧州を中心に義足ランニングに関する研究発表を行っている。2013 年に国際バイメカニクス学会より Promising Young Scientist Award を受賞。専門はバイオメカニクス。

座長 栄 健一郎

(医療法人社団康人会 適寿リハビリテーション病院)

「活動・参加を促進する移動支援機器」 ～理学療法士の果たすべき役割～

シンポジスト

長濱 佑亮（医療法人社団康人会 適寿リハビリテーション病院）

大岡 孝史（日の出医療福祉グループ）

樋口 由美（大阪府立大学）

司会 宮原 拓也 (上尾中央医療専門学校)

『理学療法士の福祉用具・義肢・装具支援の啓発・実態調査』

※本調査は平成29年度日本理学療法士協会「職能に資するエビデンス研究」として実施したものです

■報告者

1. 福祉用具・義肢・装具支援に関する啓発と実態調査～装具編～

中野 克己 (埼玉県総合リハビリテーションセンター)

2. 福祉用具・義肢・装具支援に関する啓発と実態調査～福祉用具編～

秋田 裕 (川崎市中部リハビリテーションセンター)

3. 義肢・装具・福祉用具の卒前卒後教育調査報告書

新田 収 (首都大学東京)

■研究実施体制

研究責任者	半田 一登	日本理学療法士学会会長
研究代表者	大峯 三郎	日本支援工学理学療法学会代表運営幹事 九州栄養福祉大学
共同研究者 装具班 (班長)	中野 克己	日本支援工学理学療法学会運営幹事 埼玉県総合リハビリテーションセンター
共同研究者 福祉用具班 (班長)	秋田 裕	日本支援工学理学療法学会運営幹事 川崎市中部リハビリテーションセンター
共同研究者 教育班 (班長)	新田 収	日本支援工学理学療法学会運営幹事 首都大学東京

09月29日(土) 09時00分～09時50分	セッション1	会場:第1会場 OHSホール
-------------------------	--------	----------------

座長	大峯 三郎 (九州栄養福祉大学)
1	脳卒中重度片麻痺患者におけるウェルウォーク WW-1000 使用の臨床経過 - 最大荷重量における前足部標準偏差に着目して - 西宮協立リハビリテーション病院 リハビリテーション部 宇渡 竜太郎
2	ハンドル形電動車椅子の安全性 - 文献・情報調査を中心に - 日本保健医療大学 廣瀬 秀行
3	臨床実習における装具療法の見学・体験の現状 - 実習施設による違いと下肢装具への興味との関係 - 上尾中央医療専門学校 宮原 拓也
4	当院で作製する SHB のトリミングに一定の指標を設けて検討した結果 - 理学療法士と義肢装具士の取り組み - 医療法人福岡桜十字 桜十字福岡病院 吉村 雅史
5	小児期発症の脊髄性筋萎縮症患者における電動車椅子の実態調査 東京女子医科大学病院 リハビリテーション部 長谷川 三希子

09月29日(土) 10時00分～10時50分	セッション2	会場:第1会場 OHSホール
-------------------------	--------	----------------

座長	原 和彦 (埼玉県立大学大学院保健医療福祉学研究科)
6	地域在住高齢者に対する極軽負荷の運動介入が睡眠及び身体機能, QOL に与える影響 広島大学大学院 医歯薬保健学研究科 保健学専攻 博士課程前期 真田 昌輝
7	健常者における免荷式歩行器歩行の免荷量による筋活動変化について 社会医療法人河北医療財団 河北リハビリテーション病院 澤本 陽平
8	ポリオ後遺症を持つ大腿骨骨折患者の歩行能力の改善に向けて ~ 装具・歩行補助具の活用を円滑に行えた一症例 ~ 医療法人福岡桜十字 桜十字福岡病院 田代 耕一
9	外傷により両下腿切断を呈し復職に至ったレッグリングハウゼン病患者の一症例 埼玉県総合リハビリテーションセンター 高山 智絵
10	下腿切断後の起立性低血圧管理を考慮した 1 症例 - 早期義足歩行獲得に至った要因とその効果 - 株式会社互恵会 大阪回生病院 リハビリテーションセンター 山岡 明広

09月29日(土) 14時40分～15時30分	セッション3	会場:第1会場 OHSホール
-------------------------	--------	----------------

座長	中野 克己 (埼玉県総合リハビリテーションセンター)
11	ウェルウォークを使用して 3 動作から 2 動作へと歩容が変化した生活期脳卒中片麻痺者の報告 横浜市総合リハビリテーションセンター 中川 淳一郎
12	大腿骨頸部骨折術後患者に対する Split-belt treadmill を用いた歩行練習の即時効果について 医療法人福岡桜十字 桜十字福岡病院リハビリテーション部 有蘭 瑳紀
13	レーザーセンサを活用した包括的歩行評価システムの開発 ~ 第一報: 歩幅の計測精度検証 ~ 北海道科学大学 春名 弘一
14	トイレ動作においてひとの動きを検出するアルゴリズムの提案および最適パラメータの検討と当該提案手法が転倒転落検知の精度に及ぼす影響 - 健常対象者 1 名における実験室レベルの検討 - 埼玉県立大学保健医療福祉学部理学療法学科 木戸 聡史
15	回復期リハビリテーション病棟での安全懸架装置を用いた脳卒中片麻痺歩行検証 藤田保健衛生大学七栗記念病院 川上 健司

09月29日(土) 14時40分～15時30分 セッション4

会場:第2会場 B401

座長 宮原 拓也(上尾中央医療専門学校)

- 16 装具フォローアップにおける支援体制の検討
埼玉県立大学保健医療福祉学部理学療法学科 井上 和久
- 17 変形性膝関節症に対する短下肢装具 Agilium Freestep(Ottobock 社) の使用経験
公益財団法人 鉄道弘済会 義肢装具サポートセンター附属診療所 山本 一樹
- 18 失調症患者に対する抗力を具備した継手付き体幹装具の有効性の検討 - 歩行速度に対する即時効果及び効果の持続性について -
竹川病院 橋本 重倫
- 19 経験年数の違いが脳卒中片麻痺患者への介助歩行に及ぼす影響
医療法人福岡桜十字 桜十字福岡病院 丸山 千尋
- 20 歩行補助具 T-Support の自宅での長期的使用が生活期脳卒中片麻痺者の歩行因子に及ぼす影響
医療法人尚和会 宝塚リハビリテーション病院 中谷 知生

09月29日(土) 15時40分～16時30分 セッション5

会場:第1会場 OHS ホール

座長 秋田 裕(公益社団法人神奈川県理学療法士会事務所)

- 21 座位姿勢における膝関節屈曲角度と座圧の関連性について
大阪河崎リハビリテーション大学 松下一輝
- 22 加速度センサを用いた車椅子適合評価手法の提案 - 駆動効率を活用した車椅子シーティング -
(株)モルテン 健康用品事業本部 開発統括部 谷口 公友
- 23 脊髄損傷者における1日の身体活動量について - 車椅子駆動の重要性 -
吉備高原医療リハビリテーションセンター 村上 平
- 24 頸髄損傷患者の坂道駆動動作に対する治療展開 - 車椅子背部の背張り調整と徒手の治療手技を行った一症例 -
大阪回生病院 石田 文香
- 25 深度センサ付き RGB カメラを用いたシーティング・クリニックでの座位姿勢評価の経験
国立障害者リハビリテーションセンター 研究所 白銀 暁

09月29日(土) 15時40分～16時30分 セッション6

会場:第2会場 B401

座長 遠藤 正英(桜十字福岡病院)

- 26 歩行速度向上に難渋した大腿切断者に対する歩行介助ロボットを用いたトレーニング効果の検証
医療法人尚和会 宝塚リハビリテーション病院 比嘉 康敬
- 27 股関節離断術後患者の歩行自立に向けた取り組み
鶴飼リハビリテーション病院 佐野 敬太
- 28 足趾把持力トレーニングインソールの検討
東京大学大学院 新領域創成科学研究科 門倉 悠真
- 29 床反力解析からみえた KAFO の特性 ～ Forefoot rocker の課題～
京丹後市立弥栄病院リハビリテーション科 梅田 匡純
- 30 長下肢装具と動画デバイスを併用した歩行練習が基本動作能力の改善に寄与した症例
独立行政法人自動車事故対策機構 岡山療護センター 中瀬 智子